

2019年度 看護部教育計画 ACTyナース Ver2に基づく研修

平成31年4月8日

研修名	時期	時間	ねらい	主な内容
オレム・アンダーウッド理論	4月	1H	対象理解をするために当院でアセスメントに使用しているオレム・アンダーウッド理論について学ぶ。患者の情報を収集するために電子カルテの見方がわかる	・オレム・アンダーウッド理論 ・電子カルテからの情報収集
コミュニケーション	4月	1H	当院の患者の特徴とコミュニケーションの基本的な技術と態度がわかる	精神障がい、重症心身障害をもつ患者の特徴とコミュニケーションの基本的な技術と態度がわかる
安全管理	4月	1H	当院の医療安全の管理体制とインシデントとアクシデントの対応がわかる	・医療安全管理体制 ・インシデント、アクシデント発生時の対応
	4月	1H	医療安全管理マニュアルを理解し、暴力防止の基本的な知識と技術を習得できる	・医療安全管理マニュアル ・精神疾患患者の症状と暴力発生について ・暴力のリスク評価について ・暴力のサイクルと防止のための対処方法
感染防止	4月	1H	当院の院内感染防止対策についてわかる	・感染防止マニュアル ・ゴミ、医療用廃棄物の取り扱い ・針刺し事故防止対策と発生時の対応 ・感染症フェーズ対応 ・与薬者の責任
与薬	4月	1H	看護手順に沿った与薬方法の理解ができ、当院で起こりやすいインシデントがわかる	・看護手順に基づいた与薬の流れ ・与薬における6Rの遵守と必要性 ・与薬時におこりやすいインシデント
MSE	4月	2H	対象の症状をとらえ、MSEを用いての患者のアセスメントができ、日々のケアの質を向上できる	・精神症状の理解とアセスメント
夜勤の心構え	5月	1H	看護チームの一員として当院の夜勤帯における看護体制がわかり、夜勤のイメージももてる。不規則な生活となるため、心身を整えて夜勤に臨むことのイメージができる	・夜勤帯の看護体制 ・夜間の安全安楽を促す援助について ・巡視の目的、方法 ・夜勤に向けての心身を整え方
採血	5月	2H	看護手順に沿った採血方法の理解ができ、起こりやすいインシデントがわかる	・看護手順に沿った採血の流れ ・採血時におこりやすいインシデント
おもむつ交換	6月	0.5	おもむつ交換時の看護師としての観察の視点を持ち、おもむつの機能を理解した上で正しく、安全に装着する手順の再確認	・おもむつ交換時の看護師としての観察の視点 ・おもむつの機能を理解した上で正しく、安全に装着する手順の再確認 ・感染予防 ・ごみの分別
洗腸	7月	0.5	看護手順に沿った洗腸を理解し、おこりやすいインシデントがわかる	・看護手順に沿った洗腸の方法 ・おこりやすいインシデント
BLS	9月	2H	心肺停止した人に対し、意識レベル、呼吸の有無を確認し、気道確保を行い、心臓マッサージ、AEDを一連の流れで正しく実施できる	・意識レベルの確認、気道確保、心臓マッサージ、 ・AED
リフレッシュ研修	10月	4H or 8H	当院及び他病院の新採用者相互の交流を通してリフレッシュする。奈良の様子を知ることができる。多職種、チーム医療のイメージがもて、情報共有ができてつながりが持てる	・当院及び他病院の新採用者と交流 ・多職種、チーム医療とつながりを持つ
医療安全研修	11月	2H	医療安全管理マニュアルの内容を理解し、看護場面のリスク感性を高め、看護場面における危険を予測しながら看護できる視点がもてる	・医療安全管理マニュアルの内容 ・安全なケアの提供は看護師の責任であること ・看護場面に潜む危険
倫理研修	11月	2H	多様な価値観、信条、生活背景を持つ患者を尊重した行動、患者・家族の思いや希望を理解し、説明と同意を理解した行動について意識できる。また看護実践における倫理的問題に気付き、普段の看護の中で倫理的な視点で考え、行動する習慣がもてる	・多様な価値観、信条、生活背景を持つ患者を尊重した行動 ・患者や家族の気持ち ・説明と同意 ・看護師の責任について ・倫理的問題への対処行動
筋肉注射	10月	0.5	看護手順に沿った筋肉注射を理解し、起こりやすいインシデントがわかる	看護手順に沿った筋肉注射の実施
移動技術	11月	0.5	精神疾患患者の特徴を踏まえた移動技術の理解し、日々の援助で活用できる	・精神疾患患者の心身の特徴を踏まえた移動介助 ・移動時におこりやすいインシデント
院内留学	1月	8H	NHOが担っている医療、当院の医療、セイフティネットについて理解でき、他病棟における看護を経験することで看護の意味づけや質の評価、改善の必要性がわかる	・NHOが担っている医療 ・セイフティネットについて ・他病棟における看護の経験 ・看護の意味づけや質の評価、改善の必要性
1年のまとめ	2月	2H	自己が経験した看護場面を看護理論など文献を活用し振り返りと考察ができる。2年目に向けての課題を明らかにする	・看護実践場面の振り返り ・看護理論などの文献の活用

レベル1